

所沢市立所沢中学校

## 環境目標：生徒の環境意識を高め、 主体的な関与を促す所沢中学校

～地産地消を通して学ぶエコ～

### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

自分たちで栽培したものを消費することで、地産地消をもって体験した。輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出の削減につながることを学び、身近な地域の食に関心を持つきっかけをつくった。

### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

地産地消をすることで、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出の削減につながり、脱炭素化の推進に貢献した。

<主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意識の向上>

### 2 《みどり・生物多様性》

#### 1. 学校農園を活用した地産地消学習

野菜(エンドウ、ネギ、大根、ホウレンソウなど)の栽培、収穫、販売学習をすることで、地産地消を体験し、未来を担う子供たちが持続可能な食生活の実践につなげている。



### 3 《資源循環》

#### 1. コンポスト

環境委員を中心に落ち葉集めを行い、集めた落ち葉をコンポストに入れ、米農家を営んでいる生徒の保護者いただいた米ぬかを入れ、たい肥を生成した。来年度以降は委員会だけでなく多くの生徒ができる取り組みを模索していく。



#### 2. ペットボトルキャップ回収

福祉ボランティア委員を中心にペットボトルキャップの回収に取り組んだ。委員を中心に社会貢献やリサイクルの意義を呼びかけ、各学級で回収を行った。生徒の環境への意識が高まり、例年を上回る回収量であった。



所沢市立向陽中学校

# 環境目標：生徒が主役となり SDGs の視点を取り入れた環境教育

～ピカピカな校内にしよう～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

総合学習で SDGs についての学習に取り組み、環境委員会で古紙回収を行う。

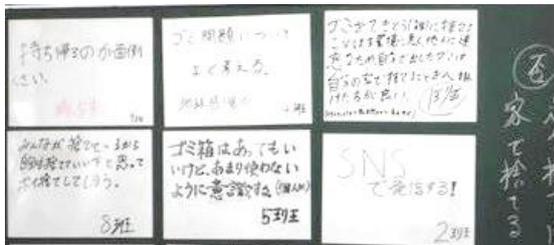
【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

生徒たちが自然を体感して環境について興味を深めて委員会活動やボランティア参加への呼びかけを通し環境への意識を高めた。

<主な教育効果：生徒会活動の方針である「発展・持続・向上～皆で築き上げる新たな生徒会～」をもとに環境委員会を中心に生徒会と協力し行うことにより、生徒の環境への意識が育った。>

## 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

・1年生が道徳の授業の取り組みとして、身近なゴミ問題を考え話し合うことを通して、ゴミ問題を解決するにはどうしたらよいかより良い社会づくりについて考えた。



を生徒たちが行ったことを通し自分たちの校内でできることに取り組んだ。



- ・環境委員会で2学期から落ち葉掃きを週一回朝学校のフェンス沿いと校門付近を行った。
- ・年2回環境委員が指示を出し全校で除草作業を行った。
- ・今年秩父で行われる全国植樹祭のために預かっているどんぐりを育てている。

## 2 《みどり・生物多様性》

- ・生徒会と環境委員会が協力し、緑の羽募金活動を行った。
- ・環境委員会で呼びかけ募集した校内農園ボランティアの活動や、PTAとの花壇の整備や木の枝の伐採の手伝い

## 3 《資源循環》

- ・環境委員会が委員会活動日を中心にクラスの古紙回収を行った。

所沢市立美原中学校

## 環境目標：場所と心を清め、環境を大切にす る心と態度を向上させる美原中学校

### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

古紙回収に力を入れて取り組んだ。古紙回収日は特に設けていないが、クラスや職員室などで古紙回収の場所を設置し、日頃から意識的に取り組み、大きな成果を上げている。

### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

古紙回収の成果を生徒会活動につなげたり、還元したりすることで主体的に環境問題に関与する意識を持つことができた。

#### <主な教育効果：環境配慮意識の向上>

#### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

・年間を通じて節電を意識し、空き教室の消灯と扇風機停止、廊下の照明削減などに取り組んだ。地球温暖化防止の意識が高まり、自分でできることから実行する姿勢を身につけることができた。

紙棚を設置し、裏紙を利用できる物は裏紙で配布し、ページ数の多い物はC4thの掲示板を利用したりして、学校としてペーパーレス化を進めることができた。その他にも落ち葉掃きで集めた落ち葉を腐葉土に用いたり、自家製堆肥を使つての学校ファームを運営する活動を継続することができた。

#### 2 《みどり・生物多様性》

・8月にPTA活動の一環として、全校除草作業に取り組んだ。部活や委員会単位で、日頃活動している場所やグラウンドを中心に取り組んだ。1時間ほどの作業時間であったが、見違えるほど敷地内がきれいになることができた。また生徒の環境への意識を向上させることができた。



#### 3 《資源循環》

・古紙回収に加え、裏紙として使用できる用

## 所沢市立中央中学校

## 環境目標：生徒の主体的な活動による環境整備

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

北校舎にみどりのカーテンを設置し、日陰をつくることで、北校舎への暑熱を抑制し、冷房による消費電力を減らすとともに、生徒の自主的な行動につながるよう、実施方法を工夫した。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・冷房による消費電力削減
- ・学校に緑を増やすことで、光合成の働きにより、二酸化炭素を取り入れ、酸素をつくり出す。

＜主な教育効果：協働意識の向上、主体性の育み、環境配慮意識の醸成＞

## 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

活動名称	節電
実施時期	通年
実施主体	・生徒会、環境委員会 ・技術家庭の授業
活動内容	・ポスター等による啓蒙活動 ・エネルギー問題の解決方法について考える
活動のねらいと成果	限りあるエネルギー資源を大切に使うことの意識を向上させた。



## 2 《みどり・生物多様性》

活動名称	みどりのカーテン、中央中ファーム、花壇作り
実施時期	4月～12月
実施主体	各学年
活動内容	・野菜の収穫 ・花壇への植え込み、収穫 ・計画的に除草作業をする
活動のねらいと成果	花を見て心を和ませ、自分たちで育てた作物を収穫することで「食育」「地産地消」の原理を学び、収穫の楽しさと喜びを味わわせた。



## 3 《資源循環》

活動名称	資源の分別回収
実施時期	通年
実施主体	生徒会、環境委員会、給食委員会
活動内容	雑誌、古新聞等の古紙回収、シュレッダーごみのリサイクル回収、日常でのゴミの分別活動等。
活動のねらいと成果	活動を通してリサイクルへの関心を高め、「循環型社会」の有り様を体験することで、社会参加の意識を育てた。



## 所沢市立南陵中学校

# 環境目標：自然・人・地域がもたらす豊かさについて考え、主体的に活動する南陵中学校 ～持続可能な社会の創り手を目指して～

### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

環境に配慮した持続可能な社会の構築を目指す所沢市の取り組みを参考に、自然に優しい社会を実現するために、自分にできることを考え、実践していく。

### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

生徒の環境問題に対する意識を高め、節電節水、リサイクル、ごみの分別など、生徒が主体的に日々継続することのできる活動を通して貢献している。

＜主な教育効果：＞主体性の育成・エネルギー資源などへ配慮する意識の向上

#### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

総合的な学習の時間を通して、SDGsのゴールを目指すために自分にできることを考え、実践している。環境問題に関する現状を知り、所沢市の取り組みを参考に、自分たちでSDGsのゴールに向けての課題を設定し、実践を行った。どの生徒もこの課題を自分事として捉え、解決策を考え、実践へと繋げることができた。自ら取り組みを継続していくことで、生徒の自然環境に対する意識も高まり、貢献しているという気持ちを持つことができた。また、生徒たちが調べたり、考えたりしたことは、一人ひとり新聞にまとめ、クラス内発表や学年内発表を行った。情報や考えをクラスで共有し、他の生徒の考えなどにも多く触れることができた。

環境委員が中心となって声掛けを行い、移動教室の時など、教室に人がいないときは、電気やエアコンを切り、節電への取り組みを行った。



節電を呼びかける表示  
(校内の全スイッチに貼付)



配信による学年内発表

エコファミリー認定事業に係るチェックシートを活用し、夏休み期間を利用して、各家庭で省エネ活動に取り組んだ。多くのご家庭から提出して頂き、積極的に取り組むことができた。

#### 2 《みどり・生物多様性》

生徒会本部役員と環境委員で、緑のはねの共同募金活動を行い、寄付を行った。

環境委員を中心に、花壇等に花の苗を定植し、水やりや草取りを行い、みどりあふれる環境づくりを行った。

特別支援学級の生徒を中心に学校ファームで野菜等を栽培し、収穫したものを販売学習で教職員や保護者に販売した。

#### 3 《資源循環》

PTAと連携を取り、制服のリサイクル活動を行った。

生徒の作成した新聞→



所沢市立東中学校

## 環境目標：地域と協力して環境を大切にする 東中学校

～地域・PTAと協力した東川清掃と古紙回収～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

1年間を通じて、環境整備委員が中心となり、各教室での古紙回収を行なった。また、今年度、生徒会本部が主体となり、PTAの協力のもと、コロナ禍以前のように大々的に東川清掃および校内除草・剪定作業を行うことができ、学校全体で約5割の生徒が参加するボランティア活動となった。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

資源の有効利用や、地域環境の保全により、脱炭素化の推進に貢献している。

<主な教育効果：環境保全への主体的意識の向上、資源活用の意欲の向上>

### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

理科の単元の一つであるエネルギー分野の一環として、さまざまなエネルギーに関する学習を行い、生徒に環境問題や課題、また、それらの解決方法を考えさせた。

それにより、エネルギー変換やエネルギーの利用について実験を踏まえて考え、知識や思考力を深め、環境活動に対する意識を高めた。

### 2 《みどり・生物多様性》



夏季休業中の8月に、生徒会本部が活動主体となり、生徒からのボランティアを募り、PTAの協力のもと、東川清掃および校庭の除草。樹木剪定作業を行なった。

生徒は学年によって東川清掃（ごみ拾い）・校庭除草・PTAによる剪定作業の手伝いに分かれ、1時間半程度の作業を行うが、今年度は除草作業に重点的に取り組み、生徒たちからも「校庭が明るくなったように感じられる。」などの感想が寄せられた。

### 3 《資源循環》

各教室に古紙回収用のかごを設置し、古新聞や雑紙を回収し、環境整備委員が月1回、分別してまとめる。

まとめたものは、学期に1回、小学校と合同で地区の資源回収に出している。

所沢市立安松中学校

環境目標：「ものを大切に作る心、自然をこよなく愛し、環境への優しい心」をもった生徒を育てる学校  
～生徒と教員が共に取り組む環境教育～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

水道や電気の無駄をなくす。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

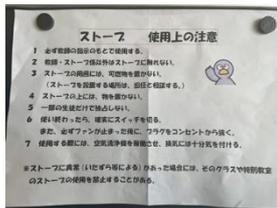
環境委員を中心にエアコンの適切な運用や清掃時のバケツ使用を推進し、古紙を回収しリサイクルに回すことができた。

<主な教育効果：生徒のものを大切に作る心や環境への関心を伸ばすことができた>

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

◎電気の無駄づかいを無くす

・移動教室の時には普通教室の電気を消す、衣服の着脱による体温調節を行ったうえでのエアコン、ストーブの運用を生徒に習慣化させることで、電気の無駄遣いを無くす取り組みを行った。



◎資源の削減

職員会議や日報のペーパーレス化や、印刷物の裏紙使用などで限りある資源を有効に使用するように努めている。

2 《みどり・生物多様性》

◎学校ファームの使用



・生徒に生命や自然環境、食物などに対する関心・意欲や理解を深めさせ、豊かな心や生きる力を身につけることをねらいとして、学校ファームで野菜を育てて

収穫する活動を行った。

3 《資源循環》

・各教室から出る雑紙や職員室から・雑誌・古紙を集め、定期的のリサイクル業者に引き渡した。

・古紙を搬出する際の重みは、ほぼ焼却した際に発生する二酸化炭素量であることを感じさせ、地球温暖化阻止に貢献している実感を持たせていった。



## 所沢市立柳瀬中学校

# 環境目標：生徒の環境意識を高め、主体的な関与を促す柳瀬中学校

～地球の恵みを体感し、できることから環境意識を高める～

### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

- ・資源回収（年2回）
- ・古紙回収（クラスごとに委員会の生徒が分別し、月1回収を行った。）
- ・ペットボトルキャップの回収（生徒会が全校生徒に呼びかけ、ペットボトルキャップの回収を行った。約3万個回収しポリオワクチン38個分となった。）
- ・総合の時間に柳中農園での活動（1年生はジャガイモの栽培、3年生はカブとダイコンの栽培）

### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・活動を通して生徒たちが資源には限りがあることを実感し、身近な取り組みから環境配慮意識を向上させることでゼロカーボンシティ実現に貢献している。

## 1 《環境温暖化防止・エネルギー》

- ・冷暖房、扇風機  
委員会を通して、衣類での温度調節の呼びかけや、適切な温度管理、使用しない時はスイッチをオフにするようにした。

## 2 《資源循環》

- ・資源回収（年2回）
- ・古紙回収（クラスごとに委員会の生徒が分別し、月1回収を行った。）
- ・ペットボトルキャップの回収（生徒会が全校生徒に呼びかけ、ペットボトルキャップの回収を行った。約3万個回収しポリオワクチン38個分となった。）

## 3 《みどり・生物多様性》

- ・総合の時間に柳中農園での活動（1年生はジャガイモの栽培、3年生はカブとダイコンの栽培）  
畑の耕作等、地域の方に助けていただき、生徒が種まき、水やり、まびき、収穫を行った。収穫後、マルチシートをきれいにとるように伝えることで、次の栽培に目を向けさせた。

## 環境目標：生徒の環境意識を高め、 自立した生徒が育つ富岡中学校 ～生徒主体の環境保全～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

節水・節電気・食べ残し<sup>ゼロ</sup>を意識させるため、美化・給食委員会の生徒主体で全クラスへ取組を周知し、限りある資源について考えるきっかけづくりと、行動力を育んでいる。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

生徒の主体的な行動から環境意識を高められるように教員が働きかけ、目に見える形(数値)で達成状況を確認することで、環境保全を自分ごととして捉えさせる。

### <主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増進>

#### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

ISO点検期間(9月・2月)の3日間、節水・節電を生徒がクラス内で呼びかけ、達成できた人数を記録する。3日間の推移や、2回の比較をし、限りあるエネルギーを大切にしようとする態度を育てている。

ISO点検 チェック項目	年 組		
	1学期	2学期	3学期
	4/13(木) ～17(月)	9/1(月) ～5(水)	1/12(金) ～16(火)
加湿器・電気のつけっぱなしを防ぐことができた。(クラスとして)	人	人	人
給食の残飯を可能な限りなくすことができた。(個人として)	人	人	人
水道の水はこまめに止め、節水を意識できた。(個人として)	人	人	人
集計時出席人数	人	人	人

#### 2 《みどり・生物多様性》

美化委員の生徒が自主的に落ち葉清掃を登校後に行った。その姿を見て自ら参加する生徒が増え、下級生も



参加するようになった。地域の環境美化活動には、住んでいる自治会の活動へ個別に参加した。

#### 3 《資源循環》

給食コンクール期間(6月・11月)の1週間、学年を越えて様々な教員が給食指導に入った。

今年度(4月～12月)は残食量が多い(令和4年度：約5.1kg、令和5年度：約9.3kg)ため、給食委員の生徒は重点と捉え、給食時に教室で呼びかけたり、校内放送を使うなど積極的に残食量削減に向けて声かけをしたりした。

栄養教諭が毎月食育掲示板に季節に合わせた食材を紹介し、食に関する意識向上を図っている。

#### <給食コンクール>

	13月	15月	16月	17月	合計
	(月)	(木)	(木)	(金)	
1組	30	30	30	27	127
2組	27	30	27	30	114
3組	26	27	29	29	111
5組	30	30	30	29	119

#### <食育掲示板>



所沢市立小手指中学校

# 環境を守ろうとする心と態度を育てる小手指中学校

～未来の環境を守るのは小さな努力の積み重ねから～

## 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

小さな努力が目に見える活動～省エネ活動

### ○手作りミストシャワーの利用

職員玄関と各学年の昇降口に手作りのミストシャワーを設置して夏の暑さ対策を行っている。熱中症対策とともに夏の節電にも貢献している。



### ○環境に優しい循環サイクル

校内の一角に雨水タンクを設置しており、花壇や花には雨水を利用して水やりを行っている。また、雨水は夏の暑い日にはコンクリートの打ち水にも利用し、地表の温度を下げるのに役立っている。

## 2 《みどり・生物多様性》

### ○環境整備「緑化活動」

P T Aと委員会が合同で6月と11月の年2回、花壇に花植えを行っている。生徒が自分たちでも植えたことで水やりなど植物を大切にす活動が自主的に行われ年間を通して花が絶えなかった。



### ○自然を身近に～学校農園「小手ファーム」

8組（特別支援学級）と科学部が中心となり体育館裏の学校ファームで様々な野菜を育てている。大根、鶴首南瓜、里芋、サツマイモ等を栽培・収穫し自然の豊かさを実感している。また、8組では販売学習として毎年収穫した野菜を自分たちで作った工芸品と一緒に販売する学習を12月に行っている。



## 3 《資源循環》

小さな努力から～生徒会・委員会の活動

### ○P T Aリサイクルバザー

P T Aが主催して不要になった制服やジャージを回収し販売するリサイクル活動を行っている。今年度は6月、10月、1月と年3回のバザーを行い、小学生にも案内を配布した。



### ○ペットボトルキャップの回収

回収箱を各学年の昇降口に設置して全校生徒に協力を呼びかけ、ペットボトルキャップを回収している。回収したペットボトルキャップは団体に寄付し、ワクチン接種に変わる活動となっている。



### ○落ち葉による腐葉土作り

校内で枯れ枝やファームで育てた野菜の草等を1箇所にもまとめ腐葉土になるまで発酵させ、その後、畑や花壇の堆肥として再利用している。収穫した野菜は販売学習で保護者、教員などに販売をし、そのお金で新たな苗を買うなどし、循環型農業として取り組んでいる。

一つ一つの活動はどれも小さな活動だが、その小さな努力が繋がって、環境を守る活動になっていることを実感できた。毎年一つ一つの活動を見直し、改善を加えながら活動を行っている。今年は、制服のリサイクルバザーで小学校にも声をかけた。来年少児が中学校に上がるのでとても助かった等の声があった。これらの小さな努力を積み重ね、循環型社会へとつなげていきたい。

所沢市立北野中学校

環境目標：学びを実践し未来へつなげる北野中学校

～自然と触れ合いと環境保全～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

・学校を上げてのSDGs学習 ・ペーパーレス化や資源循環

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

SDGsを念頭に置き、学校の教育活動において3Rを実施

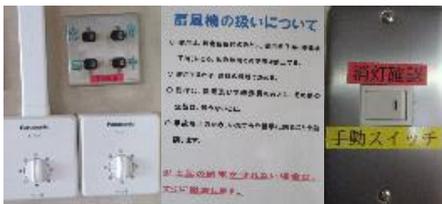


3年総合にて国際理解及びSDGs学習

＜主な教育効果：生徒、保護者、教職員すべてが主体性をもち、SDGsの意識を高めた＞

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

◎生徒会・環境委員・教職員協働の省エネ



生徒に未使用教室の扇風機、照明の消灯や、水道使用量を意識させ省エネを進めている。

◎PTA・教職員協働の省エネ



教員は、裏紙再利用、会議や日報のペーパーレス化等によりエコ意識を高めている。また、PTAとともに家庭向

けの手紙（広報含む）はtetoruにて電子配信をし、資源、労力を抑えている。

◎自然体験学習



エコライフを意識し、地球規模の環境保全につながることをねらいに、2年生が富士山の麓の大自然の中で1泊2日の宿泊学習を実施した。洞窟探検、

樹海ハイキング、湖畔でのキャンプファイヤー等の体験学習で自然や環境問題への興味関心や行動化への意欲が向上した。

2 《みどり・生物多様性》

◎学校ファーム



農業体験活動を通して、生命や自然環境食物などに対する関心・意欲や理解を深めさせ、豊かな心や生きる力を

身につけることをねらいとし後援会やPTAの協力を得て野菜作りに取り組んだ。特別支援学級では、たくさんの種類の野菜を作り、ジャガイモは三者相談で来校する保護者に販売した。この活動は生徒が土に親しむとともに食育の一端を担った。

◎生徒会によるSDGs取り組み

月毎の目標を決め、生徒会朝会やポスターを作成して呼びかけ、次月に結果を報告して成果を確かめている。これまで『手洗い・うがいをしよう』『残食を減らそう』『防災グッズを準備しよう』等に取り組んだ。



3 《資源循環》

◎生徒会委員会活動 年2回の地域清掃

所沢市「環境の日」に合わせて、全校生徒が登校時に通学路を中心にゴミを拾いの地域清掃を行った。また、エコキャップ回収、合板とポールを用いて腐葉土箱を作成した。



◎PTAまつり（リサイクル）、除草作業

PTA主催で生徒、保護者、後援会、教員が協力し除草や樹木の剪定作業を実施した。11月にはリサイクル活動としてバザーを実施した。



卒業生や家庭地域からの制服等の献品数が増え、エコ活動に盛んになっている。

所沢市立山口中学校
-----------

## 環境目標：身近な所から取り組みを

～SDGsへの意識づくり～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

空気清浄機のフィルター清掃、エコキャップ回収、清掃ボランティアなど

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

教室内の電気やごみ箱など、生徒にとって身近な活動に力を入れることで、生徒自身が家庭や卒業後でも日常生活の中で「持続可能」な環境活動につなげる。

<主な教育効果：環境配慮の意識定着、環境保全への意欲増進>

### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

本校では、各教室の空気清浄機のフィルター清掃を、環境美化委員の生徒が定期的に清掃し、感染防止だけでなく、運転効率を良くし省エネにつなげている。移動教室の際の電気等を消すことも、生徒が自主的に行っている。

社会科の授業内では、九州地方のエコタウン事業などを調べる学習を通じ、温暖化防止や環境保全のためにどのような取り組みが行われているかを学んだ。自治体や企業の取り組み、ごみの分別の大切さなどを学び、普段の生活への意識づけとなった。

### 2 《みどり・生物多様性》

家庭科部では、今年度きゅうりやゴーヤで緑のカーテンを作った。他にも学校ファームを活用し、ジャガイモなどの栽培から収穫、調理まで様々な取り組みを行っている。

校庭の小さな池では、理科の教員を中心に山口中周辺と同様の昔ながらの環境を作っている。昼休みや登下校の際には、興味深く池の中をのぞき、メダカやヤゴなどの生物を観察している生徒が見られる。

本校では、地域の方々との交流やPTA活動も

活発に行われている。PTAの方々を中心に、校舎脇の花壇に季節ごとの花を植えたり、愛校会本部役員の毎年の恒例行事として、サツマイモの栽培と、秋の収穫・保護者への販売が行われた。また、コロナで生徒の参加が見送られてきた、荒幡富士清掃ボランティアが再開され、約60人の生徒が参加した。地域の和の象徴である荒幡富士の清掃活動を通して、多くの生徒が地域の大人たちと、楽しみながら環境保全のための活動を体験することができた。

### 3 《資源循環》

福祉委員会では、4月当初キャップ回収8万個という目標を立てた。委員会の生徒を中心に、多くの生徒が家庭のキャップを持ち寄り、身近な所からの取り組みを実践している。また制服リサイクルも積極的に活用されている。



所沢市立上山口中学校

## 環境目標：自然と共存する上山口中学校

### ～地域と連携した環境作り～

#### 【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

- ・生徒会環境委員会の生徒によるエアコン管理（教師の主導のもと、授業による教室移動の際の「エアコン切」チェック活動）
- ・黒く塗ったペットボトルを窓際に置き、温水を作り清掃活動に生かす。

#### 【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・直接エアコンの「切」操作を生徒にも管理させることで、直感的に温暖化防止に貢献しているという意識を醸成している。
- ・温かくなることを体感することで、太陽光エネルギーが与える影響の大きさや、エネルギーを節約できることが実感でき、自宅でも試してみようとする意欲の醸成につながっている。

#### <主な教育効果：>

#### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

・環境委員会が書いた節水、節電のポスター流しやトイレに掲示していることで、節水、節電の意識が高まった。

・理科の授業で白熱電球とLEDの電気料金を計算し、地球に優しいエネルギーの使い方を学習した。

#### 2 《みどり・生物多様性》

・環境委員会を中心に花壇、プランターの整備を行い、草花を育てることで、緑に囲まれた立地とともに、心豊かな学校生活ができる環境を創り上げている。

・地域の方と協力して月に一度、緑道と、柳瀬川の清掃を行い、緑豊かな環境と、ミヤコタナゴを放流できる河川環境作りを目指した活動ができた。また、市内中学校では唯一の活動である科学部によるミヤコタナゴの飼育活動も生物の多様性の観

点から、教育効果の高い活動となっている。

・環境委員会、特別支援学級、技術家庭科、地域ボランティアの方が協力して、上中ファームで野菜を栽培し、土にふれあう活動ができた。ジャガイモ、サツマイモなどの栽培を通し、理科で学ぶ光合成をして、デンプンができることを実践できた。収穫した野菜は、保護者会などで販売するとともに、地域行事のために提供した。



#### 3 《資源循環》

・理科の授業の天気単元において、水が循環していることを理解するとともに、水源が限られたものであることを学ぶことを通して、実生活の中でも、水を大切にすることを醸成できるよう、実生活とのつながりを意識した授業を展開している。

## 所沢市立三ヶ島中学校

# 環境目標：環境に配慮する学校づくり

～未来知を拓く三ヶ島中学校～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】  
年間を通して、生徒会を中心に節電や節水、ゴミをできるだけ出さない取組について呼びかけている。また、生徒が校舎屋上の屋根貸し事業による太陽光発電に興味を持たせるために職員室前のディスプレイを整備し、省エネルギーやリサイクルについての関心を高めさせた。



【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】



総合的な学習の時間において、SDGsについての学習の一環として「ゼロカーボンシティ」について触れさせたり、廊下に所沢市発行の「立ち読みSDGs」を掲載して生徒の意識を高めた。また再生可能エネルギーについて理解を深めさせ、消費電力を削減する姿勢の育成を通して所沢市の脱炭素化の推進に貢献している。

<主な教育効果：環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増進>

### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

学校環境衛生基準に基づき、本校では冷暖房の使用について気温の基準を定めている。暑い時期は28度以上、寒い時期は18度以下になった場合、冷暖房を使用する。教職員には生徒の健康面を配慮しつつ、極端な温度設定は控えるよう周知している。また、環境整備委員会が中心となり、校舎内の照明をこまめに消灯する活動に取り組んでいる。節電をアナウンスするステッカーを作り、校舎内の照明スイッチに取り付け、生徒の節電に対する意識の向上を図っている。

栽培した農作物は、特別支援学級の販売学習で有効に活用した。冬季に入り、学



校の花壇にパンジーを植えた。絶えず、四季折々の花が校内にあり、生徒や地域の方々にとって穏やかで心豊かな環境を整備している。

### 2 《みどり・生物多様性》



な種類の野菜を栽培した。

学校ファーム活動として、特別支援学級、生徒会・環境整美委員会の生徒が中心となり、様々

### 3 《資源循環》

環境整美委員会を中心に、資源回収業者に依頼し雑紙や、段ボールの資源回収の取組を実施している。



所沢市立狭山ヶ丘中学校

## 環境目標：目指せエコライフ！3R推進プロジェクト ～地域と連携した環境教育～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

- ・生徒が中心となって、美しい環境を整え、資源循環の意識を高める。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

- ・環境委員会による、計画実践・呼びかけを通じて啓発していく
- ・生徒、保護者の協力のもとに、連携を深めながら、実践を深めていく。

<主な教育効果：地域との交流、勤労・生産意識の高揚>

### 1 《地球温暖化防止・エネルギー》

ノーメディアの取り組みに際して、多くの生徒・家庭が参加し、環境教育に役立てることができました。また、取り組みをきっかけに、「スマホの使用を減らしてその時間を読書に回すことができた」などという生徒の声があがりました。

### 2 《みどり・生物多様性》

### 3 《資源循環》

#### ①狭中ファームにおける野菜栽培

総合の授業の一環としてジャガイモ、さといも、ブロッコリーなどの野菜の栽培を行いました。また、家庭科の授業と連携して食育も推進しています。収穫した野菜は、土曜授業の後に、販売を実施しました。



#### ②狭中花壇の美化

令和5年度においては、環境委員会を中心に、円形花壇の大規模植え替えを行いました。また、

6月～10月にかけては、花壇の雑草を取り、花壇の整備を行いました。

美しい環境を整えることで、落ち着いた雰囲気ですべてを進めることができました。また、参観した保護者も、狭山ヶ丘中学校の花壇が整頓されているというお褒めの言葉もいただきました。



#### ③狭中環境美化大作戦

土曜授業の後に、PTAの方々とは環境整備作業を行いました。環境委員会が中心となり、「開会式・閉会式」を行い、保護者との交流を図る場となりました。

### 3 《資源循環》

段ボール、古紙回収を実施し、資源回収を実施しました。年に2回ほど集団資源回収を行い、資源の循環の大切さや意識を高める活動を推進することができました。